

月	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	1章 式の計算	単項式と多項式の乗法および多項式を単項式でわる除法の計算をすることができたり、1次式の乗法の計算および公式を用いる式の展開や因数分解をしたりすることができる。	既に学習した計算の方法と関連づけて、式の展開や因数分解をする方法を説明したりすることができる。	文字を使った式のよさを実感して粘り強く考え、多項式について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、文字を使った式を用いた問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしたりしている。
6	2章 平方根	数の平方根の必要性と意味を理解し、数の平方根を含む簡単な式の計算をすることができたり、具体的な場面で数の平方根を使って表したり処理したりすることができる。	既に学習した計算の方法と関連づけて、数の平方根を含む式の計算の方法を考察し表現することができたり、数の平方根を具体的な場面で使ったりすることができる。	数の平方根のよさを実感して粘り強く考え、数の平方根について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、数の平方根を使った問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしたりしている。
7・8	3章 2次方程式	2次方程式の必要性と意味およびその解の意味を理解し、因数分解したり平方の形に変形したりして2次方程式を解くことができたり、解の公式を使って2次方程式を解くことができたりする。	因数分解や平方根の考えをもとにして、2次方程式を解く方法を考察し表現することができたり、2次方程式を具体的な場面で使ったりすることができる。	2次方程式のよさを実感して粘り強く考え、2次方程式について学んだことを学習にいかそうとしたり、2次方程式を使った問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしたりしている。
9	4章 関数 $y=ax^2$	関数 $y=ax^2$ について理解したり、事象の中には関数関数 $y=ax^2$ としてとらえられるものがあることを知ったり、いろいろな事象の中に関数関係があることを理解したりしている。	関数 $y=ax^2$ としてとらえられる2つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連づけて考察し表現することができたり、関数 $y=ax^2$ を使って具体的な事象をとらえ考察することができたりする。	関数 $y=ax^2$ のよさを実感して粘り強く考え、関数 $y=ax^2$ について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、関数 $y=ax^2$ を使った問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしたりしている。
10	5章 相似な図形	平面図形の意味および三角形の相似条件について理解したり、基本的な立体の相似の意味および相似な図形の相似比と面積比や体積比との関係について理解したりしている。	三角形の相似条件などをもとにして図形の基本的な性質を論理的に確かめることができたり、平行線と線分の比についての性質を見だしそれらを確かめることができたりする。また、相似な図形の性質を具体的な場面で使うことができる。	相似な図形の性質のよさを実感して粘り強く考え、図形の相似について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、相似な図形の性質を使った問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしたりしている。

月	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
11	6章 円	円周角と中心角の関係の意味を理解し、それが証明できることを知っている。	円周角と中心角の関係を見いだすことができたり、円周角と中心角の関係を具体的な場面で使ったりすることができる。	円周角と中心角の関係のよさを実感して粘り強く考え、円周角と中心角の関係について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、円周角と中心角の関係を使った問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしていたりしている。
	7章 三平方の定理	三平方の定理の意味を理解し、それが証明できることを知っている。	三平方の定理を見いだすことができたり、三平方の定理を具体的な場面で使ったりすることができる。	三平方の定理のよさを実感して粘り強く考え、三平方の定理について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、三平方の定理を使った問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしていたりしている。
1	8章 標本調査	標本調査の必要性和意味を理解したり、コンピュータなどの情報手段を使うなどして無作為に標本を取り出し、整理したりすることができる。	標本調査の方法や結果を批判的に考察し表現することができたり、簡単な場合について標本調査を行い、母集団の傾向を推定し判断することができたりする。	標本調査のよさを実感して粘り強く考え、標本調査について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、標本調査を使った問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしていたり、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとしていたりしている。
2	演習	様々な事柄の必要性和意味を理解したり、それぞれの事柄の関係の意味を理解したりしている。また、様々な計算や、公式を使った処理ができる。	既に学習した問題解決の方法と関連づけて、様々な問題の解決方法を考察し表現することができたり、学習した事柄を具体的な場面で使ったりすることができる。	数学のよさを実感して粘り強く考え、数学について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、数学を使った問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしていたりしている。

※教材や単元の特徴、進捗状況等によって変更となる場合があります。